

くまもと家庭教育10か条 第2条

あいさつの習慣化

わたしは、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」のあいさつをすると、いきいきとすごせます



伝えていきますか

「愛しているよ」のメッセージ
そして今月は……

朝昼晩

元気にあいさつ

習慣に

一学期の

あいさつ運動実施

バックアップ委員会では、六月二日〜六日までの五日間、正門前や各々の地域においてあいさつ運動を実施しました。

そこで、参加された保護者の方のご意見を紹介いたします。

◎とても元気のいいあいさつを交わすことができて、大変嬉しくなりました。子ども達から元気をもらっていると聞いていましたが、その通りでした。(Iさん)

◎ほとんどの子どもが元気に「おはよう」と返してくれましたが、中には元気がない子ども達もいて、とても気になりました。(Kさん)

◎制服をきちんと着こなしていない、またネームなどがない子どもの姿があり、子どもの服装についても見直すきっかけになりました。(Iさん)

お礼

朝の大変お忙しい時間帯に、たくさんの方が「あいさつ運動」にご参加いただきました。誠にありがとうございました。ございました。

バックアップ委員会での「あいさつ運動」の反省について報告します。

—K 五日間場所を変えて参加しました。学校正門でのあいさつはとても元気がありますが、学校から離れると共に、しない子どもが多くなるようです。交通当番の人に挨拶しない子どももみられました。

—I 学校では先生にあいさつをするのが当たり前という認識があるので、正門で気持ち切り替えているのかもしれない。

—N 自分から挨拶しても返してくれない大人がいるので、不安で挨拶できないという子ども達の声も多く聞きます。

運動のタスキとかをかけているとあいさつを返してくれないという安心感があるのではないのでしょうか。

それに、大人同士もなかなか挨拶はしにくいですね。

—T あいさつ運動の始まりは、まず大人が率先してあいさつをしましょうという目標もあったと思います。

—I 大人も子どもも、自然に元気がよくあいさつを交わして一日をスタートできるよう、一部の地域だけではなく、多くの保護者、地域の方々とともに運動を展開していかなければならないですね。

—S まず、家庭の中でお互いに「おはよう」「いってきます」「いってらっしゃい」などの言葉を交

わす事も大切ですね。

—I バックアップ委員会は、家庭への啓発も活動の一つです。家庭や地域で、あいさつの必要性を見直すきっかけになればありがたいです。

運動をしなくても、自然にあいさつが交わされる、元気いっぱい地域を目指したいですね。

—T 正門でのあいさつ運動を経験して、先生と一緒にの清掃活動や、三旗掲揚、パワーアップ運動など、朝の子ども達の様子がよくわかり、とても楽しかったです。

朝からフルに活動するので、「早ね早起き、朝ごはん」の必要性も強く感じました。

—先生 パワーが落ちている子どもは、しっかりと朝ごはんを食べています。よく分かります。

委員長 委員会として、子どもたちが元気に学校生活をおくれるように、家庭での役割を研究し、



学校、家庭、地域が連携して子ども達を育てていけるよう様々な情報発信と活動を展開していきます。

2学期もまた多くの保護者の方に賛同いただき、取り組んでいきたいと思えます。

